

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | 心身障がい福祉センター ひよびよ園 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年12月1日 | | 令和8年1月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 46 | (回答者数) 38 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年12月1日 | | 令和8年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年1月30日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 障がいへの対応だけでなく、1, 2歳児という子どもの特性も踏まえた子育て支援を実施していること | <ul style="list-style-type: none"> ・まだ情動コントロールが未熟な1,2歳児への基本的支援として、お子さんの好きなこと、得意なこと探しに力点を置き、家庭での子育てに活用できるよう努めている。 ・環境調整、視覚的アプローチ、スモールステップで褒める支援を基本的スタンスとして位置づけ、実践している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門性を深めるために、ティーチャーズトレーニングを受講している。講師も当部門職員が行い、知識のアウトプット強化も図っている。 |
| 2 | 親子通園に特化した通園部門であること | 支援者の視点で、お子さんの小さな成長や変化を見逃さず保護者へ伝え、子育ての喜びを実感していただけるよう努めている。 | 保護者のエンパワメント向上を目的とした家族支援プログラム、親族にも広く児の理解に繋がるきっかけを作る目的で家族参観週間を設けている。 |
| 3 | 家族支援の視点に立った療育 | 必要に応じて相談支援係と連携を図り、家庭内や育児支援に関する福祉サービスの紹介等を行っている。 | 欠席が多いケースである場合は家庭訪問を行い、できる限り迅速な情報提供を行っている。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 保護者との相談時間の確保 | 定期的な個別面談の他、随時必要に応じて臨時的な面談も行っているが、それでも全てのニーズには応えられていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・降園後の電話相談も可能であることを再周知する。 ・児発管(園長)の活用を検討し、緊急の面接時間の確保を行う。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |